千間江湖・除川洪水避難地図（洪水ハザードマップ）

洪水避難地図の見方・使い方

【洪水避難地図とは】

洪水避難地図とは、「千間江湖・除川」が大雨によって増水し、堤防から水があふれた場合や、川への排水ができなくなることによって支川や水路からあふれた場合の浸水予測結果（熊本県が公表した浸水想定区域図 平成19年9月19日指定 熊本県告示第793号）に基づいて、浸水する範囲とその程度（深さ）及び各地区の避難場所を示した地図です。

浸水の予測は、**最大で1時間70mm・1日300mm程度の規模の大雨を想定して行っています。**これは平成9年7月の洪水時の約1.3～1.5倍程度の大雨で、この地域での最も危険な状況を考えたものです。

【洪水避難地図の使い方】

この地図は、市民の皆さんに日頃から浸水が起こりそうな場所や浸水する深さなどを把握していただき、雨の降り方や浸水状況により危険を感じたら、早めにそして自主的に避難を始めていただく手助けになるよう作成しています。

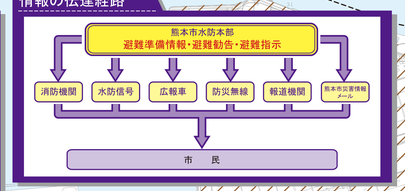
この地図を参考にして次のようなことを心がけて下さい。

- 洪水避難地図にはこのほか大雨の時に水浸しになりやすい道路や、地区ごとの避難の方向等を示しています。
- いざというときに備え、あなたの家から避難場所までの経路や家族の連絡先などを書き込んでおきましょう。
- 避難に関する情報や連絡はどのように入ってくるのかを把握しておきましょう。
- 水害時には、状況に応じて避難準備情報や避難勧告、避難指示が出されますが、危険を感じたら細心の注意をはらい、早めに自主的に避難を開始してください。水深が50cmを超えると避難が非常に困難になります。
- 雨の状況によっては川が氾濫しなくても浸水することがしばしばあります。危険を感じたら早めに自主的な避難を行いましょう。
- マンション等の共同住宅の3階以上の階にお住みの方は、浸水の深さによっては屋内にとどまっていたほうが安全な場合があります。

平成22年3月　熊本市

◎この地図についてのお問合せ先◎【熊本市総務局 危機管理防災室】 熊本市手取本町1－1　℡096(328)2490

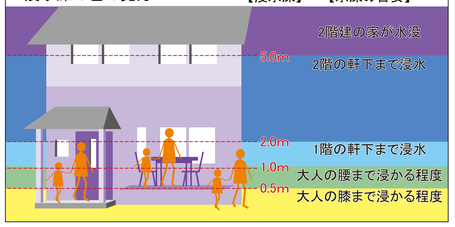
情報の伝達経路



凡　例

表記	名　称	表記	名　称
	浸水が 0.5m未満の区域		警察署・交番
	浸水が 0.5～1.0mの区域		消　防　署
	浸水が 1.0～2.0mの区域		市　役　所
	浸水が 2.0～5.0mの区域		救急指定病院
	浸水が 5.0m以上の区域		防災備蓄倉庫
	浸水実績（H8～H17）		指定避難場所
	市　町　界	1 2 3 4 5	避難ブロック名
	町　丁　界		避 難 方 向
	避難ブロック界		アンダーパスおよび道路浸水実績箇所

▼浸水深の色の見方



避難ブロック	避難場所 名称	避難場所 所在地	電話番号	避難対象丁町名
1	中島小学校	中島町538	329-7120	沖新町、中島町
	小島小学校	小島7丁目9-1	329-0921	
	西部市民センター	小島2丁目7-1	329-8503	
2	飽田中学校	孫代町72	227-0004	畠口町、無田口町、浜口町、孫代町、並建町、白石町、会富町
	飽田東小学校	砂原町115	227-0003	
	飽田南小学校	護藤町999	357-9240	
	飽田西小学校	並建町1005	227-0028	
	飽田公民館	会富町1333-1	227-1195	
3	天明中学校	奥古関町2146-1	223-0038	海路口町、銭塘町、奥古関町、内田町
	中緑小学校	美登里町800	223-1415	
	銭塘小学校	銭塘町990	223-0028	
	奥古関小学校	奥古関町4072	223-0045	
	川口小学校	川口町3045	223-0025	
	天明運動施設体育館	奥古関町2035	223-1111	
	天明公民館	奥古関町2035	223-0118	
	天明農業研修所	奥古関町1905-1	223-1111	
	アクアドームくまもと	荒尾2丁目1-1	385-2711	全域対象

この避難場所一覧と地図内の避難方向を示す矢印は、中学校区を基本とした避難先の目安です。
実際の避難の際は状況に応じて避難場所を選んで、避難してください。

■防災倉庫

所在地	住　所
蓮台寺公園	蓮台寺4丁目14

■備蓄倉庫

所在地	住　所
小島河川防災センター	小島6丁目10-10
飽田総合支所	会富町1333-1
天明総合支所	奥古関2035
南部市民センター	南高江6丁目7-35

主な備蓄物

- 非常食糧：アルファ米、乾パン
- 生活物資：毛布、肌着セット、食器セットなど
- 防災資機材：非常用発電機、手押しポンプ、簡易トイレ、バールなど

●防災関連機関

名　称	住　所	電話番号
熊本地方気象台	熊本市春日2丁目10-1	096-352-0345
熊本河川国道事務所	熊本市西原1丁目12-1	096-382-1111
同：白川出張所	熊本市東子飼町8丁目55	096-343-4072
熊本土木事務所	熊本市東町3丁目11-63	096-367-1111
熊本北警察署	熊本市草葉町5-13	096-323-0110
熊本南警察署	熊本市十禅寺3丁目3-28	096-326-0110
熊本東警察署	熊本市東町3丁目11-48	096-368-0110
熊本市役所	熊本市手取本町1-1	096-328-2111
○災害対策本部	同上	096-311-1111
○水防本部	同上	096-328-2222
熊本市消防局	熊本市大江3丁目1-3	096-363-0119
中央消防署	同上	096-371-0119
西消防署	熊本市米屋町1丁目12-1	096-325-0119
健軍消防署	熊本市東町4丁目6-17	096-367-0119
小島河川防災センター	熊本市小島6丁目10-10	096-329-5951

●ライフライン関連機関

名　称	住　所	電話番号
NTT西日本㈱熊本支店	熊本市桜町3-1	096-321-3250
九州電力㈱熊本東営業所	熊本市上水前寺1丁目6-36	0120-986-6604
九州電力㈱熊本西営業所	熊本市上熊本2丁目12-10	0120-986-6603
西部ガス㈱熊本支社	熊本市萩原町14-10	096-370-8600
熊本市上下水道局	熊本市水前寺6丁目2-45	096-361-5448
熊本市交通局	熊本市大江5丁目1-40	096-361-5211

●医療機関

名　称	住　所	電話番号
国立病院機構熊本医療センター	熊本市二の丸1-5	096-353-6501
熊本地域医療センター	熊本市本荘5丁目16-10	096-363-3311
熊本大学医学部附属病院	熊本市本荘1丁目1-1	096-344-2111
済生会熊本病院	熊本市近見5丁目3-1	096-351-8000
熊本中央病院	熊本市田井島1丁目5-1	096-370-3111
熊本市立市民病院	熊本市湖東1丁目1-60	096-365-1711
熊本赤十字病院	熊本市長嶺南2丁目1-1	096-384-2111
自衛隊熊本病院	熊本市東本町15-1	096-368-5111

沖新町、畠口町、海路口町は避難所までの距離が離れています。
この地区にお住まいの方は、特に、**早期の避難**を心掛けてください

車での避難について

●避難の原則は徒歩です●

車での避難は、30cm程度の浸水でも動けなくなったり、交通渋滞を招いて緊急車両が通れなくなったりする恐れがあります。

また、車は氾濫の流れに乗り、家屋を破壊したり、道路をふさぎ復旧活動の妨げになることがあります。

そのため、避難は徒歩で行ってください。



車での避難は渋滞を引き起こし、緊急車両通行の妨げになります



堤防に車を放置しないで下さい

※ただし、避難場所までの距離が遠い次の地域の方は、特例として車による避難を行って構いません

沖新町（中島校区）、畠口町（飽田西校区）、海路口町（奥古関校区）

【車で避難する場合は次のことに十分注意して下さい】

- 浸水が始まったら車での避難は危険です。浸水前の早めの避難をお願いします。
- 車での避難場所は「アクアドーム」です。他の避難場所は浸水する恐れがあります。
- アクアドームまでは県道海路口小島線、及び熊本港線を利用して下さい。
- 避難時は緊急自動車の通行を優先して下さい。

日頃からの備え

- **非常持ち出し品を準備しておきましょう**
  日頃から、避難するときに持ち出すものを普段いやすいリュックサックなどに詰めておきましょう。
- **避難場所や避難経路の確認をしておきましょう**
  最寄りの避難場所や安全な避難ルートを前もって確認しておきましょう。
- **一人暮らしのお年寄りなどに気配りをしましょう**
  地域にすむ一人暮らしのお年寄りや体の不自由な方に日ごろから声掛けなど、普段から気配りをしましょう。



川で遊ぶときには

- **事前にその日の天気や川の状況をチェックしましょう**



出来るだけ一人では行かないようにして、前もって安全に避難する方法を確認しましょう。

増水の前兆（雨が降る、水かさが増える、水が濁ったり木や落ち葉が流れてくる）や警報が鳴ったらすぐに川から上がりましょう。

避難の心得

- **安全の確保**
  子どもやお年寄り、体の不自由な人がいる場合は、早期の避難を心掛けましょう。



- **相互協力**
  避難する時はできるだけ複数で行動しましょう。また、救助隊の指示に従い、すみやかに避難しましょう。



- **動きやすい服装で**
  はきものは運動靴など、紐で締められるものにします。（長ブツ・サンダルなどは危険です）



- **歩いて避難できる深さ**
  歩ける水深はひざくらいまでが目安です。遠げ遅れた場合は、無理せず高いところで救助を待ちましょう。



- **冠水した場所を歩く時は**
  長い棒で水面下を確認しながら歩く、ロープにつながって避難するなどの安全対策をとりましょう。



- **危険の回避**
  土砂災害の恐れがあるがけ地の近く、増水している川の橋は通行しないようにしましょう。



避難行動について

段階	内容・とるべき行動・注意事項
① 避難準備情報	大雨が降り続いて洪水の危険がある場合などに、一般の方は避難の準備を、子供や高齢者、体の不自由な人など避難に時間を要する方は避難を開始していただく段階です ●テレビ・ラジオ等の気象情報に十分注意し、心構えをしておきましょう ●車で避難する地域の方は、避難をはじめましょう ○危険を感じたら、自主的な避難準備を心掛けましょう ○市役所、消防署、警察署からの避難の呼びかけに注意しましょう
② 避難勧告	命令ではありませんが、安全のため、早めの避難をうながす場合に出されます ●避難対象地域にお住まいの方は、早めの避難を心がけましょう ●道路の浸水がはじまりますので、車での避難はやめましょう ○避難する前に、電気・ガスなどの火元を消し、避難場所を確認しましょう ○親戚や知人などに避難する旨を連絡しておきましょう ○夜間の避難は大変危険ですので、できるだけ余裕をもって避難しましょう
③ 避難指示	川から水があふれたり堤防がこわれたりするような洪水の危険が目前に迫っているときに出されます ●避難対象地域にお住まいの方は、必ず避難してください ○指定された避難場所に直ちに避難してください ○万が一逃げ遅れた場合は電話・携帯電話などで自分の居場所を救助隊に知らせましょう



地下の危険性

- 大雨の時は地下施設、地下室などは危険です！
- 洪水時には地下室からすぐに退避してください！
- 日頃から地下室の豪雨・洪水に対する危険性を認識しておくことが大切です。
- 洪水の恐れがあるときはビル管理者にも連絡が入ることになっています。ビル管理者から指示がある場合はこれにしたがって下さい。

地下室では外の様子がわかりません



浸水すると電灯が消え、エレベーターは使えません



水深が20～30cmでも、水圧でドアは開かなくなります



地下駐車場は浸水する恐れがあります



地上が冠水すると一気に水が流れ込んできます



縮尺 1:12,000

0　200　1000　2000m

※地図及び避難対象町丁名については、作成当時の住居表示となっています。（平成23年3月改定）